



今年1月にオープンした東京リ
イフクリニック（総院長：石川
志医師）。クリニック・ラボ・
実務関係が一体になった世界理
の再生医療グループとして、「理
在の機能の回復・向上」と「生
化の緩和・阻害」という2つ
の観点から、短期・長期におい
て最高のリターンを得るための
療を提案・提供している／所
地：東京都中央区銀座7丁
0-17 虎屋銀座ビル 6-8
tokyo-reif.jp

整ってきています。

Special Talk with
Mr. Nobutaka
Furuyama
and
Mr. Yoshiaki
Furuyama

Special Talk with
Mr. Nobutaka
Furuyama
and
Mr. Yoshiaki
Furuyama

る可能性があります」（喜草さん）
古山先生はロシジェビティについて
わかりやすい言葉で説明してくれた。
「後々美容外科のドクターにとって最
大の警め言葉は、患者様が同窓会に出
席した時や、長年会っていなかった旧
友と再会したとき「ちっとも変わらな
いね」、「昔よりも元氣そうだね」と言

クは究極の不老長寿のケアを提供でき



ものにする新しい概念「ロンジエビセイ」。その実践の場として、東京リライフクリニクと白鳥が丘クリニクの今後に期待が膨らむ。

どの診療も行っています」（喜草さん）
「今後、再生医療の分野ではより高いレベルで、病や事故で失った機能を回復させる効果が期待できます。治療や施術を通じて、よりアクティブな後半生を送れるようになる。人生120年時代がより現実に近いことを実感しています」（登隆さん）

約にも患者様のベネフィットとなるよう、NK細胞療法、幹細胞上清液治療、水光注射治療、PRP療法、プラセンタ注射、高濃度ビタミンC点滴など

クは解の不明長寿のケアを模例で
の可能性がありません（喜草さん）
古山先生はロジシティについて
わかりやすい言葉で説明してくれた。
「我々美容外科のドクターにとって最
大の警め言葉は、患者様が同窓会に出
席した時や、長年会っていないかった同
友と再会したとき「ちっとも変わらな
いね」、「昔よりも元気そうだね」と言



連載

FACE TO FACE

Dr. N. Furuyama

ドクター古山の
ルックスアップ講座

これらの医療にとって重要なキーワードは「ロンジェビティ (Longevity)」。だて古山先生は語る。ロンジェビティとは「長寿」や「長命」を意味する言葉だが、昨今では「健康寿命をいかに延ばすか」という科学的・医療的な概念として認知されている。自由が丘クリニックが目指すロンジェビティとはいかなるものか。今回、古山先生とそこご子息である東京リライフグループCEO古山喜章さんとの対談が実現した。

「昔と変わらないね」が
ドクターの最大の勲章になる

質（Quality of Life）を維持し、人生に寿命を延ばすのではなく、人生の元気に活動できる期間（ヘルスバリエーション）を最大にするのが、2020年になってからの客観的若々しく保つ美容術として見えてくる。自律小丘クリニックは細胞レベルから生物学的な老化治癒を目指す再生医療。自由小丘クリニックによって、その国や文化というプロパティの表現を目指しているというアロチは、世界的な視野で見ても先進的である。そのあたりか二人に聞きた。

[illegible]

第2フェーズが始まるのは2030年ごろから。なるだろうと思いませんか? (喜草さん)

「私も今後5年間は、とても重要だと思えます。これまでドクターが個人の経験や胸に頼っていた医療分野も、アカデミアに根づくエビデンスが基準になっていきますからね。東京ライフワクリニクスが先進的な研究によって得たエビデンスが自由が丘クリニックの臨床に生かされることも増えるでしょうし、自由が丘の現場で積み重ねたエビデンスが銀座の研究室で生かされるこ

139 DEC. 2025 *Hail Mary Magazine* 取材協力：自由が丘クリニック tel. 03-60・808・8200 <https://jiyugaokaclinic.com>